

平成30年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成31年 2月28日

農林水産省
食料産業局長 殿

JA全農インターナショナル
米穀・園芸部

平成30年度における輸出に取り組む事業者向け対策事業の海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : 香港

実施期間 : 平成31年 2月22日(金)～ 2月28日(木)



「香港 YATA全農青果物フェア」

1. YATAでの『JA全農フェア』実施内容

- (1)期間 : 平成31年2月22日(金)～2月28日(木)
- (2)場所 : YATA Supermarket(一田超市) 全11店舗
沙田店、大埔店、荃湾店、新蒲崗店、屯門店、旺角店、觀塘店、
西環店、將軍澳店、元朗店、葵芳店
- (3)出席者 : 全農インターナショナル香港株式会社 エリザベス担当
JA全農インターナショナル(株) 山口
- (4)内容 : YATAは、香港内に11店舗を構える高級量販店であり、日本国産農畜産物を多く扱う。店舗の展開場所も高所得層居住地の近隣地域であり、日本国産青果物を訴求するに適した量販店である。
この度、YATA全店舗(11店舗)において、日本国産りんごの販売促進を行った。りんごの販売を促すため、試食販売を行った。マネキンも1店舗1人を金、土、日のコアタイムに常時立て、効果的なPRを実施した。
- (5)販売青果物
りんご サンふじ(青森県産) 291ケース
りんご 王林(青森県産) 431ケース
- (6)出荷日程
2月14日 東京→香港 船便
2月18日 YATA 各店舗に到着
- (7)着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった。



YATA 沙田店での販売



積極的に商品説明をする試食担当者



目を引く販促資材で集客を喚起



入り口に大きく催事場を設置し、来客の目を引く。



店舗入り口



りんごの品種説明POP

3. 所感

一般的に春節が終わってからの香港国内の需要は低迷すると言われており、今回については、売れ筋を懸念しながらの開催ではあったものの、大玉は2玉ごとの販売、小玉は4玉1セットでの販売をすることで、幅広い購買層を獲得できたと認識。想定したよりも王林のファンが多く、サンふじよりも売れ方は顕著であった。本来2月はりんごの産地取り扱い品種は少ないが、赤、青系で異なる色のりんごを用意したことにより、配色的にも魅力的な売り場づくりができたものと認識。

4. フェアの成果及び今後の進め方

今回、2品種でもかなりの反響があったため、12月や1月の品種が豊富な時期に実施してはどうかと考えている。数品種並べ、さらに売り場を拡大できれば相当な反響があることは確実である。化粧箱などのギフト即売等も次回は検討したい。